

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 法学部 法律学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
20	9

### 2. 法律学科 アドミッション・ポリシー

法律学科は、現実の社会において発生する様々な問題について論理的かつ合理的に考えることができる法的思考能力（リーガル・マインド）を持ち、さらにその能力をもちいて、これらの問題に対して柔軟かつ適切な解決策を導き出すことができる人材の育成を目指しています。そのため、特に以下の点について、十分な適性と意欲を持った志願者を求めます。

1. 社会の動きに広く関心を持っている人物。
2. 物事を柔軟かつ論理的に考え、それを的確に表現できる人物。
3. 高い志と正義感、忍耐力を有する人物。

A O型入学試験では、志願者の自己推薦ポイント（人間性、活動実績、将来への夢・希望など）が、これから法律学科で学んでいく上でどのような意義をもつかを、みなさん自身の言葉で明確に表現できることが望まれます。

### 3. 出題の意図

法律学科が求める志願者は上記アドミッション・ポリシーに記載の通りであるが、本問は、主として「1. 社会の動きに広く関心を持っているか」、「2. 物事を柔軟かつ論理的に考え、それを的確に表現できるか」を問うことを意図している。

本問のテーマは、2022年4月1日からの成年年齢引き下げについてである。現在のわが国では、満20歳をもって成年とされているが、これが満18歳に引き下げられることになる。この改正は、国民生活に大きな影響を及ぼす改正であり、ニュースでも大きく取り上げられた。また、その及ぼす影響が多岐にわたるため、賛否両論のある改正でもある。

本問では、こうした改正の趣旨、賛成意見・反対意見について、日頃のニュースを通じて把握しているかを問うとともに、それを踏まえたうえで、自分の意見を述べることを問うことを意図している。

#### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

本改正は、公職選挙法改正によって選挙権年齢が18歳に引き下げられたこと、また、憲法改正のための国民投票の投票権年齢が18歳と定められたことを踏まえた改正である。その趣旨としては、国政の重要な判断に18歳の若者にも参加してもらうことにした以上は、日常の私生活においても18歳を成年として扱うのが妥当であると考えられたこと、また、世界的に見ても、18歳を成年とするのが主流であることが挙げられている。

本改正に賛成する意見としては、若者の積極的な社会参加を促すことによって、社会を活力のあるものにすることができるということなどが挙げられている。すなわち、民法では、未成年者が法律行為を行うためには親権者の同意が必要であるとされているが、成年に達すれば、親権者の同意がなくても自由に法律行為を行うことができるようになる。したがって、どのような契約を結ぶかなどについて、若者がより早く自分の意思で決められるようになり、結果として社会が活力に富んだものになるとする。

本改正に反対する意見としては、成年年齢が引き下げられることによって、それまで未成年者として保護されていた者達が保護されなくなり、悪質な事業者による契約被害が増加する恐れがあることなどが挙げられている。すなわち、民法では、未成年者が親権者の同意を得ずに行った法律行為は取り消すことができるとして、未成年者の保護を図っているが、成年年齢が引き下げられることによって、若者が未成年者として保護される期間が短くなることが危惧されている。

以上のような、改正の趣旨、賛成意見・反対意見について説明したうえで、自分の意見を述べてもらいたい。その際には、成年年齢引き下げによる弊害の改善策（たとえば、こういう制度があれば契約被害を減らすことができる、など）も盛り込むことができれば望ましい。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 法学部 地域行政学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
14	7

### 2. 地域行政学科 アドミッション・ポリシー

本学科では、入学者に対して、高校卒業程度の基礎学力を身につけていることに加えて、特に以下の点について適性と意欲を持っていることを望みます。

1. 地域社会の出来事から、広く世界の情勢にまで関心を持ち、常に問題の本質を見極めようと努力する人物。
2. 何事に関しても、しっかりとした自分自身の考え方を育てるように学習し、同時に、他者との意見交換を通して、議論を建設的に発展させ、異なる考え方からも学ぼうと努力する人物。
3. 将来、自ら選んだ職業を通して地域に貢献することを希望し、それへ向けての努力を厭わない人物。

地域行政学科は、行政・民間部門において政策を企画・立案し、実務に対応できる人材、より深い見識と広い視野を身につけ、地域社会の発展に貢献できるような人材の育成を目指します。

特にAO型入学試験において、私たちは高い志を有し、地域や社会の動きに目を向け、行動力を有する情熱ある志願者を求めます。

これまでの勉強や部活動で得たもの、あるいはこれからの夢を、自分の言葉で表現できる能力を高く評価します。

### 3. 出題の意図

社会の出来事に対する受験生の関心の度合いをみるため、今回はSNSに関する問題を出題した。

例えば、アメリカ大統領選挙における対立候補へのデマなど、ネット上での根拠の不確かな情報が国内外で具体的にどのような問題を引き起こしているか、日頃から新聞等を読んでいれば比較的容易に解答できるのではないだろうか。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

SNS をすでに使っている高校生も多いと思う。確かにそれは利便性の高いコミュニケーション・ツールとして、たいへん魅力的なものである。

一方、その負の側面が、現在、大きな社会問題となっている。SNS がどのような問題を引き起こしているか、また、こういった現状を踏まえ、その利用に際してどのような事に注意すればいいのか、など日頃から考えていることをより具体的に論じていただきたい。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 経済学部 経済学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
17	9

### 2. 経済学科 アドミッション・ポリシー

経済学科は、社会経済における諸問題に、目的意識を持ち意欲的に取り組む人材の育成に努めています。そのために、以下のような志願者を求めます。

1. 高等学校卒業程度の基礎学力を有する人物。
2. 経済・社会を含めた諸問題に関心がある人物。

A O型入学試験では上記に加えて、

経済・社会を含めた諸問題に強い関心を持ち、何らかの解決策を導き出すための「想像力・創造力・表現力」を有する人物を求めます。

### 3. 出題の意図

本試験は、高校で学んだ経済に関する知識と沖縄県における経済社会の課題を認識したうえで、問題文や経済データを正しく解釈し、具体的かつ論理的に表現することを求めている。近年沖縄県経済は好調に推移しているが、他方で1人当たり県民所得の低さや非正規雇用の多さ、子どもの貧困問題等の課題も残されている。本試験では、高校で学んだ知識をもとに経済データを読み取り、解釈をする力を問うとともに、沖縄県が抱える経済社会問題について、現状と課題をどの程度理解しているのかを問うものである。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

経済成長率や国内（県内）総生産等の用語（定義）を説明しつつ、全国平均と沖縄県との比較検討を通じて、沖縄県経済の現状と課題を明らかにしている解答を高く評価する。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 経済学部 地域環境政策学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
20	5

### 2. 地域環境政策学科 アドミッション・ポリシー

地域環境政策学科では、経済の視点から地域と環境を考えることを通して、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献し、持続可能な社会を創造できる人材の育成を目指しています。そこで、本学科では、次の①～⑤について自らの言葉で説明できる志願者を求めています。

- ① 沖縄及び世界の経済や環境に広く関心がある人
- ② 沖縄地域の経済や環境を含めた、沖縄の過去・現在・未来に関心がある人
- ③ 様々なフィールド（現場）に出て、積極的に活動することが好きな人
- ④ 社会で起きている様々な事柄に関心を持ち、地域社会及び世界へ貢献したいという熱意のある人
- ⑤ 大学の授業に耐えうる基礎学力を有し、勉学に対する意欲がある人

特にA O型入学試験では、一般試験だけでは測ることが難しい多様な資質を有する学生を受け入れるため、コミュニケーション能力が高く、上記の①～⑤について自らの言葉で表現でき、学内外の活動に積極的に取り組んだ実績があり、それらの活動が、本学科で学ぶ上でどのような意味を持つのかを説明できる志願者を求めます。

### 3. 出題の意図

地域環境政策学科では、経済の視点から地域と環境を考えることを通して、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献し、持続可能な社会を創造できる人材の育成を目指している。したがって、沖縄などの地域や世界の環境と経済の関係性について、過去から現在までの流れから見る問題の背景、また、地域的な課題に対する実現可能な解決方法を考え、論理的に提言することができるかどうかを見る問題を出題した。具体的には、最近、新聞等による報道で問題となっており、世界や地域を結び付け、経済活動等によって左右されるリサイクルが進む廃プラスチックと食品ロスなどの廃棄物問題を取り上げた。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

評価のポイントとして、大学の授業に耐えうる基礎学力を見る。具体的には、小論文が具体例をあげながら論理的に説明でき、国語表現がしっかりしていることや、新聞等から最近の問題・課題を把握していることも重要です。また、循環型社会の形成を推進するための「発生抑制」「再使用」「再生利用」を十分理解したうえで、廃棄物の課題を解決する事例を示しながら自説を説明できている解答を高く評価する。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 産業情報学部 企業システム学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
20	8

### 2. 企業システム学科 アドミッション・ポリシー

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指し、「マーケティング」「経営」「会計」の3分野を柱に専門的、体系的に学んでいきます。よって、本学科では以下のような志願者を求めます。

1. 基礎的な教養を身につけ、自分自身のスキルや能力を鍛える意志を持っている人物。
2. 企業システム学科で学びたい事を自覚し、表現できる人物。
3. 大学卒業後のビジョンを抱き、地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物。

さらに、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をAO型入学試験によって受け入れ、その資質を開花させるために必要な教育を通して将来のビジネス社会で活躍できる人材育成を行います。

AO型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

- ①他者に誇れる活動や実績等を有している人物。
- ②企業システム学科で学びたい事を明確にアピールできる人物。
- ③大学卒業後のビジョンを抱き、自己研鑽ができる人物。

### 3. 出題の意図

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指している。この小論文の出題の意図は、そうした人材の育成を目指す本学科での学修にあたり、必要な能力を、受験生がどの程度持っているかをみることにある。本学科のアドミッション・ポリシーで求められている志願者像は、①基礎的な教養を身につけ自分自身のスキルや能力を鍛える意志を持っている人物、②企業システム学科で学びたい事を自覚し表現できる人物、③大学卒業後のビジョンを抱き地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物である。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

この小論文では、まず、基礎的な教養がどの程度あるかをみている。ここでいう教養とは、国語の学力に加え、社会一般に対する普段からの関心の広さと深さを表す。次に、論点を整理して、論理的に表現できているかをみている。最後に、社会の問題を他人事としてではなく自分のこととして主体的にとらえ、解決しようとする意欲が伺えるかをみている。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 産業情報学部 産業情報学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
24	11

### 2. 産業情報学科 アドミッション・ポリシー

1. 将来の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人物。
2. 情報科学や産業・経済に興味があり、産業情報学科で学びたいことを明確に持ち、意欲的・主体的に勉学に励むことのできる人物。

A O型入学試験のアドミッション・ポリシー

産業情報学科では産業社会(経済・金融・企業経営など)の基本的なしくみと情報技術について学び、経済活動や日常生活と情報技術の深い結びつきを理解することで、個人が地域社会において果たすべき役割について認識を深めます。

理論と実践が融合したカリキュラムにより、あらゆる産業分野において情報化を推進する「産業の情報化」、情報技術を基に企業や産業の創出・発展を企画し実行する「情報の産業化」が担える人材の輩出を目標としています。

また、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をA O型入学試験によって受け入れ、個性に柔軟に対応した教育を行い、多元的な社会で活躍できる人材を育成します。A O型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

- ①他者に誇れる活動を行った、あるいは行っている人
- ②産業情報学科で学びたい事を明確にアピールできる人
- ③大学卒業後の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人

### 3. 出題の意図

出題は、沖縄県の産業が抱える問題点のうち、人材採用の実態についてグラフより読み取る力を見ている。具体的には、沖縄県における各産業・各業種の人材採用の実態から、どのような問題点や課題があるのかを読み取り、それを論理的に記述してもらうことで、基礎的な知識、思考力・判断力・表現力等の能力を見る。また、産業情報学科では、産業・経済に興味を持つ人物を募集しており、沖縄県の産業や業種の抱えている人材採用についてどのような問題意識を持っているかを問うことで、入学のみならず、卒業後の進路を見据えた考え方ができるのか否かを推し量る。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

沖縄の産業が抱える問題点を各業種の人材採用の実態と自分のなりたい将来像を重ね合わせて、産業情報学科で、どのようなことを学び、どのように大学生生活を送っていくのかを論理的に、かつ明確に記述することがポイントです。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 総合文化学部 日本文化学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
17	14

### 2. 日本文化学科 アドミッション・ポリシー

日本文化学科は、日本文化及び琉球文化への造詣を深めることを教育上の目的としています。具体的には、言語学・文学を中心とする理論的、かつ実践的な教育を通して、国際社会、情報社会、地域社会の中で自己の役割を深く認識し、生き生きと実践できる人材、そして、豊かな知性、分析力、情報処理能力、表現力、コミュニケーション能力、共生能力を備えた人材を育てていきます。

日本文化学科では、各種入学試験を通して、以下の各専門領域に強い関心を持つ志願者を求めています。

1. 日本語学、日本文学、日本の芸術・芸能
2. 琉球語学、琉球文学、琉球芸能
3. グローバル時代に求められる文化情報の発信技能・多様なコミュニケーションのあり方

特に、AO型入学試験では、以下のような能力、意欲をもった志願者を求めます。

- ① 批評・創作(小説、詩、書、絵画、演劇など)を含む広い意味での表現活動、琉球文化の継承発展に関する活動などの領域で優れた実績を上げ、大学生活の中で、さらに深めようとする人。
- ② 国語科教員、日本語教員、図書館司書(学校司書を含む)、司書教諭といった当学科の専門領域に関わる職業に深い関心を持ち、それを通じて社会貢献を目指す人。
- ③ 国際交流活動、ボランティア活動、課外活動(スポーツ、文化活動) などを通して広い視野を備え、日本文化、琉球文化、多文化間交流などの専門領域を深く学びたいという意欲を持つ人。

### 3. 出題の意図

日本文化学科では、アドミッション・ポリシーに基づき、3つの専門領域への関心の高さを評価するための試験問題を毎年出題しています。今年度は多文化間コミュニケーション分野の問題を出題しました。問1は要約問題、問2は意見文問題となっています。問1では適切に情報をインプットし、それをまとめて伝える能力を測っています。また、問2では上記の分野への関心、そして論理的な文章を書く能力を測っています。どちらも、大学に入学し、学んでいく上で必要となる基礎的な知識技能である言語運用能力を問うています。

#### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

要約問題については、

- 1) 日本のコミュニケーション教育に問題があること
  - 2) 子どもにとって、表現する必要性や意欲が出てくる環境がないこと
  - 3) コミュニケーション教育（表現教育）には「他者」と関わる体験教育がよいと筆者が考えていること
- の3点が含まれていれば高い評価を与えています。

本文中で多く紹介されている事例を省き、問題提起→展開→まとめという流れをつかむことが重要です。

意見文問題については、多文化間コミュニケーションについての関心・知識、教育（国語・日本語）への関心・知識を持つ受験生ほどより深い考察ができる問題になっています。

- a. 社会で求められる表現力やコミュニケーション能力
  - b. 「異文化」や「他者」と伝え合うための考え方や工夫
- なども含めて論じられると評価の高い意見文になります。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 総合文化学部 英米言語文化学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
26	8

### 2. 英米言語文化学科 アドミッション・ポリシー

英米言語文化学科は、沖縄国際大学のアドミッション・ポリシーおよび学科の教育目標に照らし、以下のような志願者を求めます。

1. チャレンジ精神と意欲に満ちた人物。
2. 英語力の向上に積極的に努力する人物。
3. 英語圏の言語や文化に強い関心を抱く人物。
4. 他者とのコミュニケーションを大切に、理想的な人間関係の構築に努力する人物。

英米言語文化学科は、言葉と人間との深いかかわりについて学び、言語や文化の多様性を理解することをモットーにして、世界の人々と対話・交流するために必要な「真に国際的に通用する実践的な英語力」と、益々グローバル化する社会に対応できる「情報処理技術」を身につけた人材の育成を目指しています。

特に、AO型入学試験では、次のような学生を求めます。

- ①チャレンジ精神と意欲に満ちた人
- ②地域や社会活動に関心のある人
- ③語学と異文化理解能力を身につけ、国内外で活躍したいという志を持った人
- ④英検2級程度の英語力のある人が望ましい

\* 二次審査では、日本語による面談のほか、英語による5分程度の面談も行います。

### 3. 出題の意図

英米言語文化学科は、世界の人々と対話・交流するために必要な「真に国際的に通用する実践的な英語力」と、益々グローバル化する社会に対応できる「情報処理技術」を身につけた人材の育成を目指している。したがって、この学科の入学希望者には他者とのコミュニケーションを大切に、理想的な人間関係の構築と英語力の向上に積極的に努力する人物を求めている。

英文は、イギリスにおける「高齢者」の定義を改定する動きについて述べたものである。解答者には、英語の語彙力だけでなく、文章全体の構成や段落のつながりを理解し、それぞれの段落の要点を整理し、日本語で簡潔にまとめる力が求められる。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

特になし。

## 2020年度 一般入学試験（後期日程） 総合文化学部 社会文化学科 出題の意図

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
16	7

### 2. 社会文化学科 アドミッション・ポリシー

社会文化学科は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通りに具体化し、「沖縄」と「人間」について学ぶ意欲と関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人材を求めます。

1. 沖縄を理解するための知的的好奇心と知的探求心をもつ人物。
2. 沖縄をとりまく世界の社会や文化の動きに深い興味と関心をもつ人物。
3. 沖縄をとりまく世界の問題と向き合うための基礎学力を有する人物。
4. 自らの問題意識のもと、フィールド（現場）に出て積極的に情報を集め考え判断し、主体的に行動することができる人物。
5. 国際交流・地域・ボランティア・文化・スポーツなど学内外の活動に主体性と協調性をもって取り組める人物。

A O型入学試験では、上記の5項目のうち、特に1、4、5の各項目を重視します。

具体的には、

○項目1については、「知的的好奇心」や「知的探求心」を、大学生活の中でどのように発揮しようと考えているのかを説明できることを求めます。

○項目4、5については、これまでの実績を具体的に説明できることを求めます。

### 3. 出題の意図

社会文化学科は、学位授与方針において、「比較文化的観点に立脚し、フィールドワークに基づいた南島地域(沖縄及び周辺地域)研究の能力」の習得と、「地域理解能力と社会的コミュニケーション能力に長けた、問題解決型の人物」であることを学位授与の条件と定めており、その実現に向けて、入学段階で求める資質・能力を、上記の入学受入方針の通りとしています。そのポイントは「沖縄」を理解するための好奇心や探究心を持ち、自らの問題意識に基づいて主体的に情報収集できることにあります。すなわち、沖縄に関する知識量の多寡だけを重視しているのではなく、地域に対する関心を持ち、課題をみつけ、その課題を解決するために自ら行動できることを重視しています。

そこで、一般入学試験（後期日程）では、沖縄に対する関心、情報収集の主体性、自らの地域の事象に対する知識や理解度等を表現する問題によって、上記のような資質・能力を確認することを意図しました。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

主張に対し根拠が明確に示されているか、かつ、論理的な文章を書けているか、を重視し、評価しています。日頃から、論理的な思考をするよう訓練しておくことを助言します。

## 1. 実施状況

志願者数・合格者数

(社会福祉専攻)

志願者数	合格者数
9	1

(心理カウンセリング専攻)

志願者数	合格者数
44	6

### 2-1. 人間福祉学科 社会福祉専攻 アドミッション・ポリシー

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物。
  2. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
  3. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。
- 上記に加えて、A O型入学試験では、以下のいずれかに該当する学生を歓迎します。

- ・社会的マイノリティーの問題を自分の問題として考えられる人
- ・グローバルな視点をもつ人
- ・知的探求心と批判的な思考力を培い、積極的に社会に参画したい人
- ・他者の個性、多様性に寄り添い、他者と一緒に社会の状況を正しく認識し、問題解決のためのスキルを身につけたい人
- ・リーダーシップを発揮できる人。また、自分や他者を肯定的に捉えることができる人
- ・他者と協調、共創するコミュニケーション能力を持つ人

### 2-2. 人間福祉学科 心理カウンセリング専攻 アドミッション・ポリシー

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通り具現化し、人間のこころに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物を求めます。

1. 人間の「こころと行動」と「人と人とのつながり」について学ぶ意欲と関心を持つ人物。
2. 大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物。（自分を成長させようという意欲と態度を持つ人）
3. 人間のこころや行動の成り立ち、働きについて、心理学的な立場からの確に理解し、日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物。

A O型入学試験では上記に加えて、

- ①人間のこころについて科学的な視点（実験・調査・観察・統計など）から学ぶ意欲のある人
- ②これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野が、大学で学びたいことに結びついている人を求めます。

### **3. 出題の意図**

社会で起こっている問題に関心を持っているか、その問題に関する情報を偏りなく得ているか、その問題の原因や対策について論理的に考えているか、を問う問題である。

### **4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）**

限られた字数を守って、正しい日本語で表記できるかも評価の対象となる。